

平成26年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
宇陀市	宇陀市立室生東小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

「地域と共にある学校づくり」を推進し、学校と保護者・地域が「協働」することにより、「地域教育力の向上」をはかる。

2 特徴的な取組の概要

《金魚踊り》

パートナーシップ事業においては、地域の方々と触れ合う、昔から続いている地域の行事に触れるということも重点において取組を進めてきている。

その一つとして、秋の運動会に昔から地域に伝わっている踊り『金魚踊り』を取り入れ、全校ダンスとして、参加者全員で踊るという取組を行った。



（参加者全員で金魚踊り）

運動会本番までに、2回、地域の方（音頭取り、踊り子）に指導に来ていただき、全校で『金魚踊り』の練習を行った。練習時より音頭取りさんに生で歌っていただき、子どもたちは、初めて踊る『金魚踊り』に最初は戸惑いを見せながらも、歌声に合わせて楽しそうに踊っていた。

運動会前日、地域の方が運んできた櫓の一部を組み立て本番に備えた。

運動会当日、午前最後の種目として『全校ダンス 金魚踊り』を行った。櫓を運動場の真中に設置し、その台上に音頭取りさんがマイクを持って上がり、周りに地域の方々、保護者、卒業生を含む参加者全員で囲み、歌声に合わせて楽しみながら踊っていた。初めて踊る保護者には戸惑いが見られたが、子どもに教えてもらいながら楽しく踊るという和やかな雰囲気であった。

このように、地域の行事や地域の方々と触れ合うことによって、子どもたちは、自分たちの地域のよさに気づき、より身近のものに感じられるようになったのではないかと考える。またこのような取組が、子どもたちの社会意識の向上に役立ち、さらには地域教育力の向上にも繋がっていくのではないかと考える。



（音頭取りさんを囲んで）